

活用現場
レポート

株式会社 時麺

愛知県岡崎市 業務用麺製造・販売

愛知県岡崎市で中華麺や生パスタ、餃子の皮などを製造されている(株)時麺様。愛知県内を中心とした様々な中華料理店やラーメン店・イタリア料理店からのオーダーで、それぞれのスープにあった麺を提供されています。今号では、時麺様のFFC活用について取材させていただきました。



● 時麺について



株式会社 時麺
愛知県岡崎市橋目町字勘介屋敷89-1
TEL:0564-32-3665



- 1986年(昭和61年)設立
- 業務用の中華麺・生パスタ・餃子の皮を製造
- 1日の製造量はおおよそ12,000～15,000食
- 25種類以上の小麦粉を使い分け、最適な麺を提案。
- 実績(2023年3月時点)
 - ・ 中華麺取引総数 429社
 - ・ 生パスタ取引総数 156社
 - ・ 餃子皮取引総数 38社



● 製麺時のFFC活用について

FFC活用歴
6年

- 工場・事務所などすべてのお水がFFCウォーター
- 「かんすい」にFFCウォーターを活用



「かんすい」とは

中華麺類の製造に用いられるアルカリ塩水溶液のこと。

かんすいを使うことで中華麺に柔らかさや弾力性・風味を持たせることができます。

- 水(FFCウォーター)はよい商品を作る原材料



中華麺の35～40%以上を占める水(FFCウォーター)は、より良い商品作りに欠かせない原材料の1つ。

加水率35%以上で「多加水麺」と言われ、麺はツルツルし、モチモチ食感を楽しむことができます。

代表者のお話



代表取締役
栗山 廣士様

知人からFFCを教えてもらい、赤塚本社でFFCについて見聞きし、納得し、2018年より工場にFFCを導入しました。FFCを使い始めてから、商品の品質が以前にも増して良くなり、お客様からの評判も良くなったと感じております。

私どもの商品を召し上がっていただくことで皆様の健康に寄与したいと思えますし、これからも「美味しい!」と言っていただける品質を維持するため、さらに素材を吟味していきたいと思っております。

● FFC活用の効果

中華麺がより美味しくなった!



中華麺を熟成した際、**生地が緩まなくなった。**

「かんすい特有のにおい」がやわらぎ、麺に締まりやコシがほどよく出て、**狙い通りの弾力のある中華麺**を作れるようになった。

餃子の皮がより美味しくなった!



餃子の皮が**ソフトで柔らかい仕上がり**になった。

焼くと小麦の香りがとても引き立つようになり、**以前よりも風味が増した。**

工場内の臭いが減少した!



FFC活用後、小麦粉の臭気が充満なくなり、**工場内の臭いが減少。**

爽やかな環境で作業ができるようになった。



毎月第3水曜日には全員出勤し、午後から工場内の清掃を実施。令和5年度『全国食品衛生優良施設表彰』を受賞されました。

FFC活用現場レポート

マイケルトーク

「時麺」編

時麺様でのFFC活用について栗山社長にお伺いしました!



動画はこちら



状況報告 今年も「北竜町 ひまわりの里」でFFCエースを散布いただきました！

2024年4月、ひまわり播種地に400袋分のFFCエースを散布いただきました。ひまわりの里様では毎年たくさんのFFCエースを土壌改良にご活用いただいております。開花が待ち遠しいですね！



開催
日程

第38回ひまわりまつり
2024年7月20日(土)
～8月18日(日)

開催
場所

ひまわり観光センター
北海道雨竜郡北竜町
板谷143-2

開催報告 FFC活用現場見学ツアー 広島県・5月29日(水)

フィランソリーダー様向けにFFC活用現場ツアーを開催いたしました。広島県内のFFC活用事業者様を巡り、FFC活用商品を味わい、改めてFFCのご理解を深めていただくことができました。ご協力いただきました事業者の皆様、誠にありがとうございました！

ご見学先



トムミルクファーム様



世羅きのご園様



和菓子処 大手門様

見て、学んで、
食べて確認！

FFC活用現場レポート マイケルトーク



マイケル・J・ライスさんが全国のFFC活用事業者様と対談するYouTube動画です。動画を見て、FFCの現場を体験しましょう！



こちらから
アクセス

地球と私にいいものを FFC 紹介広場

スマートフォンやPCなどインターネットからFFC活用事業者様の情報を閲覧することができるポータルサイト。日本地図から事業者様をチェックできるなど、内容が充実しております。ぜひご覧ください！



こちらから
アクセス

FFCテクノロジー Instagram

水を改質し、水の機能を引き出す技術FFCテクノロジーの情報を発信しています。様々な産業分野での活用事例や、研究結果などをご紹介。

アカウント名
ffc_technology



こちらから
アクセス

🎁 今号のお花プレゼント

Aコース グズマニア 6号



Bコース 黒の土作り2袋セット (FFCパーク堆肥20L×2袋)



応募方法

同封ハガキでのご応募、もしくは右記のコードを読み取りGoogleフォームでご応募ください。抽選でお選びいただいた景品をプレゼントいたします。



※切

2024年7月31日(水)到着分まで
当選者の発表は商品の発送をもって
代えさせていただきます。

FFC・J TOPICS

2024年7月号

vol.130

日頃より弊社FFC製品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。
FFCジャバントピックスでは、FFC製品をご活用いただいている事業者様の活用方法や活用後の変化、エフエフシー・ジャパン関係の最新ニュースなどを紹介しています。ぜひ日頃の業務にお役立てください。

株式会社 **エフエフシー・ジャパン**

〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3
TEL:059-230-3595 FAX:059-230-3380

ホームページ <https://www.ffc-japan.co.jp/>



FFC海外ニュース

世界文化遺産の稲作で期待されるFFC

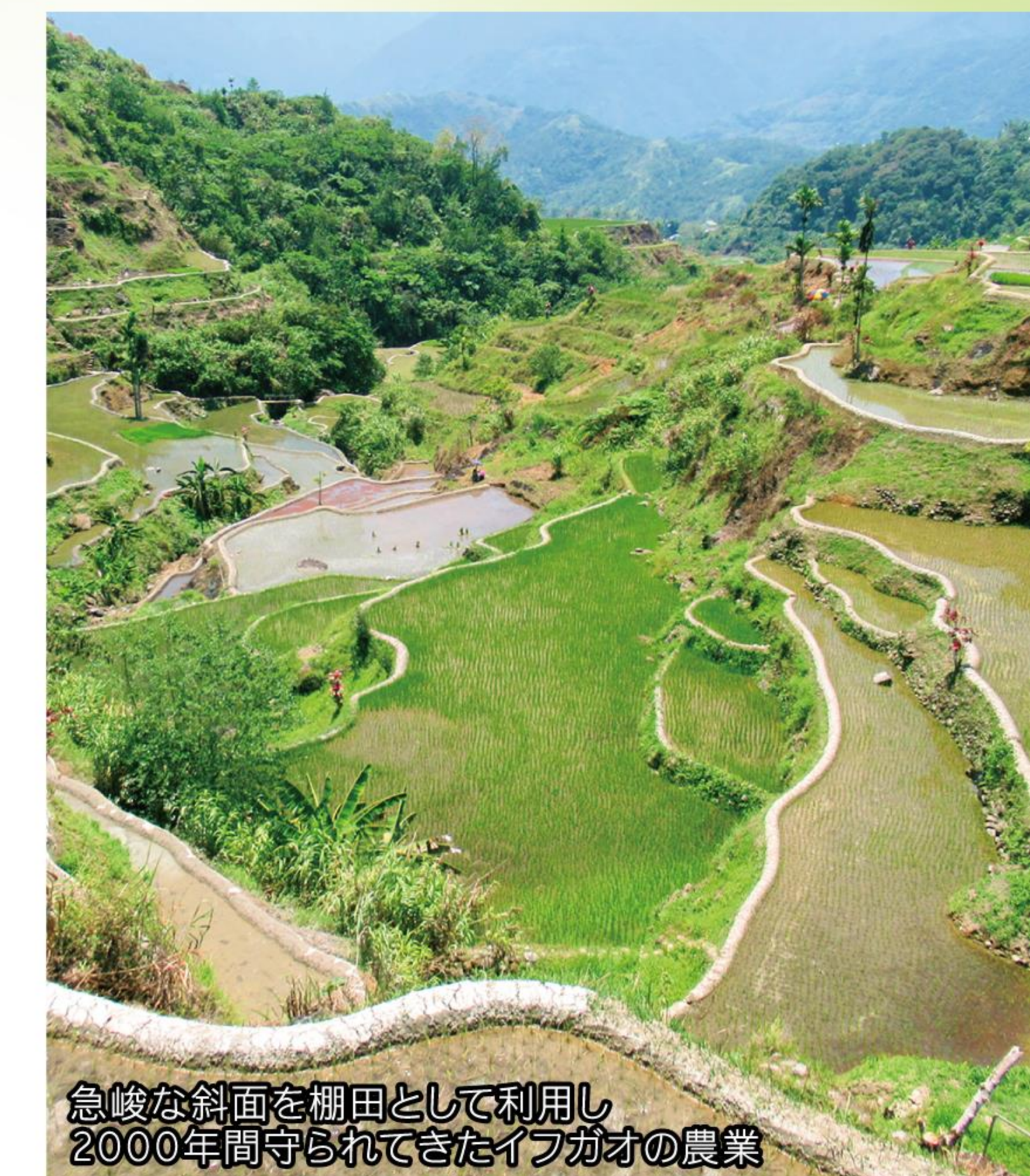
世界文化遺産のイフガオ棚田群はフィリピン・ルソン島北部に位置します。標高1000mを超えるこの場所で米作りが始まったのは2000年近く前のことで、イフガオ族の人々が山の斜面を開拓し、独自の文化を継承してきました。

自然との共生で作られ出された世界最大規模の棚田で、畦道の総延長は地球半周分の20,000kmにも達するといわれています。近年は人口の流出による耕作放棄、自然災害による棚田の破壊などがあり、2001年には危機遺産にも登録されました。

赤塚植物園グループでは2016年よりイフガオ棚田群の保全と文化の継承を目的に、現地の支援団体との協力のもと、水源へのFFCセラミックスの提供、設置を行ってまいりました。2017年以降は、FFC普及活動を行うフィランソ会員様にもFFCセラミックスの寄付にご協力いただいております。現地の方からは「水田に生息する食用貝の増加」や「米の収穫量の増加」など喜びの声が届いています。

この活動はコロナ禍で一時中断しておりましたが、2024年4月、弊社スタッフが5年ぶりに現地を訪問し、ご寄付をいただいたFFCセラミックスの設置と、これまでの水源のメンテナンスを行ってまいりました。

米作りに欠かせない水は棚田の上に広がる森から湧き出し、水田に注がれ、上から下へと田を潤し、やがて海まで辿りつきます。その水の流れるさまに、我々の暮らしを重ねてみると、水の出発点と終着点の狭間にいる私たちの責任の重さを痛感いたします。5年ぶりのイフガオでの活動は、学びの多いものでありました。



急峻な斜面を棚田として利用し
2000年間守られてきたイフガオの農業



水源に設置した
FFCセラミックス

ウハ村の
バユッカ元村長(左)

イフガオ州・ウハ村の小学校に FFCセラミックスを設置

イフガオでの我々の活動を支援してくださったウハ村のバユッカ元村長(当時村長)の「子どもたちには良い水に触れさせたい」という想いから、ウハ小学校の貯水タンクへFFCセラミックスを設置させていただきました。

設置の際のセレモニーでは、約100名の子どもたちと教員の皆様が集まり、FFCへの期待に胸を膨らませました。



FFCセラミックスを
貯水タンクに設置



Salamat
ありがとうございます！



生徒の前で説明する
バユッカ元村長



ウハ小学校の皆さんと
記念写真